

トランプはイラン攻撃をやめ 和平合意と交渉に戻れ

トランプ大統領はイランとの暫定平和合意を踏みにじて7月7日からイランに対する大規模な空爆を連日行なっています。イランの軍事施設だけでなく、橋や鉄道、住民の命に係わる造水施設まで爆撃しています。イランも暫定和平合意を停止すると宣言し、米軍の攻撃に対しては冷静に湾岸の米軍基地に報復してきました。暫定和平合意を破壊したのはトランプ大統領です。トランプ大統領はいったん認めた和平合意を覆し、大規模な攻撃でイランに不利な条件を押し付けようとしたのです。

トランプの脅しはエスカレート、しかし八方ふさがりです

トランプ大統領の脅しの声はどんどんエスカレートしました。「イスラエルと一緒に大規模攻撃を加える」「ひどい目に合わせるぞ」「その前に屈服を受け入れろ」等々。しかし、この脅しは足元から崩れました。大規模攻撃開始予定の8月2日、トランプ大統領は突然攻撃見送りを公表しました。トランプ大統領は「イランと湾岸諸国が提案を受け入れたから」と全くのウソでごまかしました。しかし、実際には、米軍部が空爆しても効果が上がらない、もう地上攻撃ミサイルを使い果たした、対空ミサイルも3分の1になったと警告しました。湾岸の米軍基地もボロボロです。ホルムズ海峡封鎖で再び原油価格が急騰しはじめました。何より同盟国であるサウジアラビアが攻撃に巻きこまれることを恐れて、攻撃を中止しないと米国債を売ると脅したからです。イランはたとえ攻撃されても屈服しないことは明かでした。

和平合意と交渉に戻れ

米国のイラン戦争は行き詰まりの八方ふさがりです。もう勝つことなどできません。しかし、トランプ大統領は何をするかわかりません。戦争を継続したいイスラエルと戦争で儲け続ける米国の軍産複合体が戦争を続けさせようとしています。米軍は放置すればまた大規模攻撃を起こしかねません。戦争が中東全体に拡大し、コントロールできなくなる危険もあります。トランプ大統領にイラン攻撃を断念し、戦争を終わらせる唯一の合意である暫定合意と交渉に戻ることを要求します。

イスラエルはガザ、ヨルダン川西岸、レバノン攻撃を止めろ！

ガザではイスラエルが人々を殺し続けています。昨年の10月以来「停戦」中ですが、イスラエル軍は毎日のように攻撃を繰返し、千人以上が殺されています。トランプ大統領は「ガザ和平案」の第2段階で合意したと公表しましたが、ネタニヤフ首相はガザの7割を占領していながら、「われわれは絶対撤退しない」と無視しています。トランプ提案もウソまみれで、住民の自決権を無視し、ハマスの武装解除最優先になっています。これは身を守ることでできない住民をイスラエルの圧倒的な殺人的暴力の前に放り出すことを意味します。ヨルダン川西岸でもイスラエルはパレスチナ人の土地を暴力で取り上げ、不法入植地を拡大し続けています。

侵略国家イスラエルとトランプの米国を世界中からの非難の声で包囲して戦争と虐殺をやめさせなければ中東に平和は来ません。高市政権は戦争をやめさせるために何もしませんが、放置すれば世界経済に破局的影響が出るでしょう。日本政府はトランプのイラン戦争とイスラエルのガザ虐殺を支持しています。イスラエルボイコット、イスラエルから軍用ドローンを買うな声を日本政府に突き付けていきましょう。

ライブ・イン・ピース☆9+25

<https://www.liveinpeace925.com> Email; info@liveinpeace925.com 2026年8月7日



ベネズエラ地震の復興再建支援にカンパを！ 米国と欧州はベネズエラへの制裁を全面解除せよ

6月24日の午後6時頃(現地)、マグニチュード7.2と7.5の巨大地震が相次いでベネズエラを襲い、ベネズエラは深刻な大災害に見舞われました。震源は首都カラカスから西に200キロ離れていましたが、カラカスや近郊のラ・グアイラなどは震度7や6強の揺れに襲われ、多くの建物が倒壊してがれきの山になり、たくさんの住民が埋まり、あるいは家を失いました。7月17日政府発表で、死者は5069人、負傷者は1万6740人、家を失った人々が約2万人。まだ多くの行方不明者がいるとみられます。

ベネズエラ政府は迅速に行動しました。ロドリゲス大統領代行は直ちに非常事態を宣言し、3万人の軍人、公務員・ボランティアら3万人と地域の人々が駆けつけ、力を合わせて人々の救助にあたり、水や食料を届けました。各国から2400人を超える救援部隊が駆けつけ、政府・地元の人々と共に救助に当たりました。2週間後にロドリゲス大統領代行は復興計画を公表し、初期費用2億ドルを計上すると発表しました。



困難な中にあるベネズエラの人々と連帯し、2つのことを訴えます

何よりも巨大な災害に見舞われ、多くの人々を失いながらも悲しみと苦しみの中から復興のために立ち向かうとしている政府と市民に敬意を表し、心から連帯したいと思います。私たちは今年1月3日の米国による侵略とマドゥーロ・フローレス大統領夫妻の拉致を糾弾し、ベネズエラとの連帯を呼び掛けてきました。これまでの連帯活動を踏まえて少しでも復興に役立つように下記のように復興・再建支援のカンパを募りたいと思います。カンパはベネズエラの復興のために使われるようにラテンアメリカ開発銀行CAF(本部カラカス)の「ベネズエラ復興・再建基金」に送金します。ぜひご協力をお願いします。

もう一つは、ベネズエラに対するすべての制裁を解除するよう声を上げることです。ベネズエラの地震の被害は甚大で、復興資金は最大1000億ドル必要と言われています。先日、米政府は3億ドルを拠出すると表明しました。しかし、それは米国が行ってきた犯罪をごまかすものでしかありません。チャベス政権以来、特にマドゥーロ政権下で、米は厳しい制裁で貿易さえできないようにし、経済を締め上げ、人々を苦しめてきました。制裁が耐震化などの余力を奪ってきたのです。復興を妨げる最大の要因も制裁です。米欧諸国はベネズエラの資産(総額130億ドル)を勝手に凍結しています。その中には英国銀行が返還しない31トンの金塊(20億ドル~40億ドル)が含まれます。復興のためにこれらの資産は直ちに返還されるべきです。さらに、米国はベネズエラに対する制裁のほとんどを現在も維持しています。米国政府が支配する原油の販売と代金受け取り、自分たちへのピンハネに関わる部分だけ、解除したに過ぎません。未だにベネズエラに対して外国から自由に送金することさえできません。私たちは米欧各国がベネズエラに対する全ての制裁を直ちに解除するよう要求します。

ベネズエラ復興支援カンパにご協力を！

復興支援カンパは、8月15日までに下記のリブインピースの振替口座に送付してください。(必ずベネズエラ復興支援カンパと書いてください) まとめて、ラテンアメリカ開発銀行CAFにあるベネズエラ復興・再建基金に送付します。

郵便振替:00910-5-107564 加入者名:リブインピース